

事業の効果を検証

総務振興常任委員会

1 期 日 平成29年6月20日(火)

2 調査内容(現地調査)

(1) 有限会社 舟形マッシュルーム

①平成28年度「元気な6次産業応援プロジェクト事業」
 ・総事業費 4800万円
 ・補助金 1585万円
 本事業は農業の六次産業化を目指し、地域で生産した商品を調理し、販売することを目的とした事業である。この事業を活用し、産直レストラン「マッシュルームスタンド舟形」を開店し、マッシュルームの販売やマッシュルーム料理の提供を行っている。



交流人口の増加が期待される産直レストラン「マッシュルームスタンド舟形」

②臭気対策
 培地製造所から発生する臭気対策として、平成28年11月より消臭噴霧装置を導入し対応している。今後の対応等について近隣の経壇原及び一の関町内会の町民に対し文書を配布し、取り組みに対する周知を図っていた。

【所感】

有限会社舟形マッシュルームが企業として大きく成長し、町の産業を代表する会社になったことは、喜ばしいことである。しかし、臭気についての課題があり、今後とも委員会として注視したい。



町から支援を受けた見事なアスパラガスのほ場

(2) 園芸作物支援事業

平成27年度に戦略的園芸産地拡大支援補助金を活用し、24aのほ場にアスパラガスを定植したほ場を視察した。平成28年度から出荷を始め、出荷1年目は出荷数量2.3トン・販売額は200万円の実績であった。

【所感】

1年目で2.3トンの出荷は目標以上の実績である。町としてもアスパラガスを奨励しており、2年目以降も出荷に期待したい。



多くの来園者に期待「女神の郷」開園式

事業計画を確認

文教民生常任委員会

1 期 日 平成29年6月22日(木)

2 調査内容(平成29年の事業概要の説明)

(1) まちづくり課

①デマンドバス計画について

(2) 健康福祉課

①地域福祉計画(地域福祉力の向上)

②ふながた健康21(健康寿命の延伸)

③介護保険事業計画(地域包括ケアシステムの実現)

④障がい者福祉計画(障がい者の自立と社会参加の実現)

⑤子ども子育て支援計画(総合的な支援体制の構築)

(3) 教育委員会

①就学前教育(保育所設置事業)

②学校教育(ヴィーナプラン)

③生涯教育(生涯学習の活性化、青少年の健全育成)

(4) 現地調査

縄文の女神記念公園「女神の郷」

① 園芸作物支援事業

平成27年度に戦略的園芸産地拡大支援補助金を活用し、24aのほ場にアスパラガスを定植したほ場を視察した。平成28年度から出荷を始め、出荷1年目は出荷数量2.3トン・販売額は200万円の実績であった。

(2) 園芸作物支援事業

平成27年度に戦略的園芸産地拡大支援補助金を活用し、24aのほ場にアスパラガスを定植したほ場を視察した。平成28年度から出荷を始め、出荷1年目は出荷数量2.3トン・販売額は200万円の実績であった。

(3) 教育委員会

①就学前教育(保育所設置事業)

②学校教育(ヴィーナプラン)

③生涯教育(生涯学習の活性化、青少年の健全育成)

(4) 現地調査

縄文の女神記念公園「女神の郷」

ウ. 日本一の給食の提供に向けて、地産地消で、生産者の顔が見える、安全な朝採り野菜を使用することで、食への関心が高まり、また愛郷心につながるものと感じた。
 エ. 給食時間を利用し、帰りのバスについて空運行しないよう調整していて、たいへん良いことだと感じた。

第9回議会公報告会を開催しました

10月2日に、野公民館と西又公民館において議会報告会を開催しました。当日は19名の方々に参加していただき、ありがとうございました。
 9月定例会で認定した、28年度の各会計の決算についての報告を行い、その後、議会活動や町の事業についての意見交換を行いました。参加された皆さんからいただいたご意見やご提言を、今後の活動に生かしていきます。



耐震工事が完了し安心して使えるようになった中央公民館

【所感】
 ア. 乗合タクシーは利用者数が1日当たり6名前後になってきている。長沢地区での実施についても早急に検討していただきたい。
 イ. 健康福祉課は、各種相談業務から介護予防まで広範囲にわたり専門性が高いと思われるが、円滑な業務遂行に努めていただきたい。
 ウ. 中央公民館耐震化工事は10月末には終了する予定であるが、住民への周知を徹底していただきたい。
 エ. 縄文の女神記念公園は、町内の方のみならず多くの町外の方の利用を願いたい。多くの観光客を見込むのであれば、トイレが必要だと感じた。

1 期 日 平成29年7月13日(木)

2 調査内容(現地調査)

(1) ほへみ保育園

今年度より、舟形町社会福祉協議会へ保育業務を委託し、保育士のほとんどが社会福祉協議会の正職員となった。数カ月経過した状況について説明を受けた。

【所感】

ア. 舟形小学校との連携も順調に進んでいるとのこと、一貫教育の目的達成に一つずつ進んでいると感じた。

イ. 本年度から社会福祉協議会の職員になったことで、個々で課題を見つけ意見を出しやすくなるなど、良い方向に改善されていると感じた。

(2) 舟形中学校

①校長先生と意見交換

教育内容や方針、いじめについての意見交換を行なった。

②日本一の給食事業の視察

新たな事業として、今年度から日本一の給食事業が始まった。生産者が学校に赴き、講師として食材の生産の説明を行い、生徒と一緒に給食を食べるといいう取り組みが行われていた。

【所感】

ア. 毎週水曜日に読み聞かせを行っている。中学校で読み聞かせを行っているのは最上管内では舟形中学校のみであり、独自性が出ていた。

イ. いじめについては、相手に「いじめだ」と言われればいじめになってしまうので、慎重な対応を行なっていた。



野公民館



西又公民館